

ほかほかタイム

第2回目の「ほかほかタイム」は、本校の卒業生でフルート奏者の福田倫子様をお招きして、お話を伺いました。フルート演奏の際、伴奏者として御友人のピアニスト高橋那由様もいらして下さいました。

この今市第三小学校を卒業して、フルートで活動しています福田倫子です。今日は少しの時間ですが、演奏とお話をさせていただきます。まずは、最初に演奏をしたいと思います。（「G線上のアリア」）この曲は、今から約250年前にヨーロッパで作られた曲です。皆さん知っていますか？日本でも有名な曲です。

こんな素敵な「ほかほかタイム」という時間は、昔はなかったのですが、とてもいい機会だと思います。小学生のとき、まさか私が自分の母校に帰ってきて演奏するとは思っていませんでした。本当にびっくりしています。皆さんも音楽の時間があると思います。私も、音楽の時間とても楽しみで、毎回生き生きしていました。それから、当時の教科書に自分が昔習った先生の写真が出ていて、自分もこんな先生に習えたらいいなあと思っていました。

それでは、次の曲を演奏します。題名は言いません。生物の名前がついているので、皆さん想像しながら聴いてください。（「熊蜂の飛行」）何の曲だったかわかりますか？そう、ハチの曲なんです。この曲は、ハチの様子が本当に忠実に再現されているなどと思います。こんな演奏もおもしろいかなと思います。



最後に、「ムーンリバー」という曲を演奏したいと思います。この曲は、夢が実現するよという願いを込めて作られたそうです。皆さんもぜひ夢を見つけて、将来がんばってやってほしいなと思います。とにかく、好きなことを見つけることが、すごくいいのではないかと思いますので、ぜひ見つけてください。（「ムーン・リバー」）

演奏後の児童からの質問

5年児童「どうしてそんなふうに体を動かして演奏しているんですか？」
福田先生「リズムにのれるのがいいと思うのですが、そんなに動かさない方がいいのかもしれないね。」

4年児童「何年くらいフルートをやっているんですか？」
福田先生「実はフルートを習い始めたのは遅かったんです。と言っても、10年以上は経っています。」

これ以外にも、たくさんの質問があったのですが、時間の都合で終わりになり、とても子どもたちは残念そうでした。それだけ、卒業生である福田様のお話や演奏に、興味をもっていたのだと思います。

子どもたちの感想は、裏面に載せてありますので、ご覧ください。

ほかほかタイム
7日（水）1：15～
講師：千本木自治会長 吉原 洋様
館東入口からお入りくださ スリッパを御持参下さい。

保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

担当：大森

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただきたいと思いますので、御了承ください。

児童の感想

前回のほかほかタイムについてたくさん御感想をいただきました。その1つを御紹介します。

子どもたちの中に入って歌ってくれたのですね。素晴らしい歌声を聴かせていただき、その歌声は誰にでもできると教えて下さったのは、子どもたちにとって大きな励みになったと思います。何事も努力（練習）によって成すことができることを、これからの人生において存分に発揮できることを願っています。もちろん、私もまだまだ練習をしていかなければいけないと思いました。